
trash

蒼山

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

trash

【著者名】

蒼山

【Zマーク】

Z5555E

【あらすじ】

みんなは加害者のために泣いている。被害者のためになんか泣いちゃいない。

みんなが泣いていた。

学校中が喪に服していた。

家族もみんな泣いていた。

まあ、当たり前と言ってしまえばそれまでだが。

で、面白いのが学校の連中だ。

みんな花束供えて一丁前に涙ながしてやがるけど、俺は知っている。

被害者のために泣いている奴なんて一人もいないってことをね。

奴らは加害者のために泣いているのさ。

あの××××××な糞の手に引金を引かせた奴らのために、泣いて
いるのさ。

そのことを俺は知っているんだぞ！

自分たちが芝居を演じていることも気付いているだろ！

気付かないフリをするなー！

俺は知っているんだ！

俺がこうなる前から気付いていたんだ！

奴がああなつちまづつと前から気付いてたんだ！

……そりゃ。

気付いていた。

でもそれだけだった。

だからなのか？

なあ。

インクと紙を腐るほど買い込み、彼らは明日にでもお前の悪を決め付けるだろう。

俺が、気付く以上のことをしてから、防げたのか。

俺は自信が無かつたけど、お前は俺にその力があると信じたのか。

信じて、そして待ったのか。

待ち続けたのか。

ならば、この結末は、痺れを切らした結果なのか？

なあ。

もしそうだとするなら、俺も、俺も奴らと同じなのか？

だから別れの挨拶の代わりに、鉛の塊を俺は食らったのか。

なあ。

どうなんだ？

まあ俺はいいとして。

お前が俺と同じ様になる必要はあったのか？

なあ。

でも同じ様になつたのに、お前はぜい元もいない。

俺には俺と奴らの姿しか見えない。

お前は本当に俺と同じ様になつたのか？

俺にはお前の姿がどうも見えないらしい。

なあ。

お前に訊きたいんだよ。

もつ口はないけれど、俺と同じ様になつてゐるなら関係の無いこと

だろ。

だから訊きたいんだ。

なのに、見えない。

俺にはお前の姿がひとつも見えないらしい。

(後書き)

ええと、かなり久しぶりです。

蒼山です。

まあアレですよ。もう文章が崩壊しています。

意味が全く分かりません。

書く側も途中から意味分かつてないままキー打つてましたから。

なんでこうなったんでしょうねえ。

KORHなんか聴きながらやってたからでしょうか?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5555e/>

trash

2010年12月3日14時54分発行